

旭区の宝

イ タ セ ン パ ラ



イタセンパラはコイ科のタナゴの仲間で、城北ワンドに生息する魚類初の国の天然記念物です。「淀川のシンボルフィッシュ」とも言われます。秋にイシガイなどの二枚貝に卵を産みます。この時期オスはきれいな紫色になります。生まれた仔魚は貝の中で約7ヶ月を過ごした後、5月頃に泳ぎ出し、4ヶ月程で7～8cmに成長します。

ブラックバスやブルーギルなどの外来種に襲われたり、河川環境の変化で危機に陥ったこともありましたが、今も旭区の城北ワンドでたくましく生きています。みなさん貴重なイタセンパラを大切にしてくださいね！！



イタセンパラの一生



10月頃 産卵期のイタセンパラ
左：メス 右：オス



長い間、貝の
中にいるよ

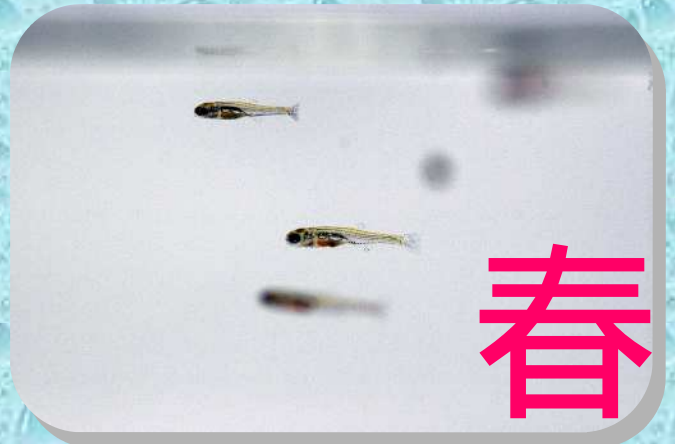


貝の中に産みこまれた卵
約1週間でふ化します

冬



貝の中の仔魚
約7ヶ月をすごします



5月頃 貝から泳ぎ出ます



成長する稚魚
秋には成魚になります

- 1974年 国の天然記念物に指定
- 1995年 国内希少野生動植物種に指定
- 2005年 城北ワンドで最後の確認
- 2013年 城北ワンドに放流